



三宅島で繁殖するアカコッコの周年の移動経路

○田尻浩伸・手嶋洋子・山本 裕・鈴木敏祥・内藤明紀 ((公財)日本野鳥の会)

はじめに

アカコッコは伊豆諸島などに分布する日本固有種で、特に三宅島で個体数が多い。日本野鳥の会では、三宅島でアカコッコの保全を目的に環境管理などを行っているが、三宅島では秋から冬にかけて観察される個体数が少なくなる傾向にあるため、季節的な移動があると考えられる。そこで、繁殖期後に大路池付近でアカコッコにGPSタグを装着し、周年の移動経路と生息環境を調べた。

調査方法

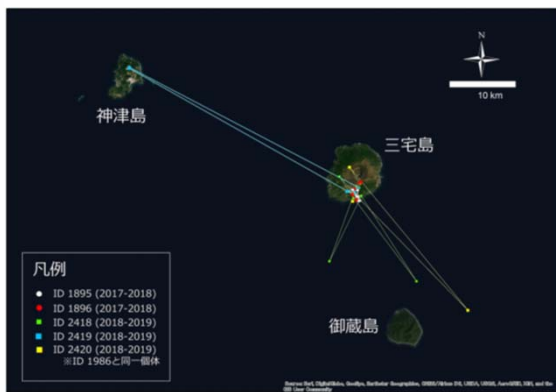
- ・2017年と2018年の7月にアカコッコのべ15個体を捕獲
- ・PinPoint GPS (PinPoint 10, 重さ1.7g, Lotek製) をレググループハーネス法で装着
- ・測位間隔は10日ごと, 15日ごとの2通り
- ・2018年と2019年の3月と7月に再捕獲実施, タグを回収
- ・記録された地点を中心とする面積1 haのバッファを発生させ, 植生の割合を求めて利用環境の季節変化を調べた
- ・記録された地点の標高の季節変化を調べた

捕獲個体について

・成鳥4個体, 5個のタグを回収した (表1)

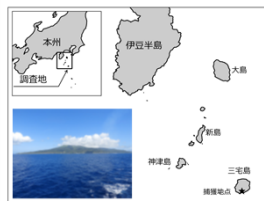
ロガーID	足環番号	性別	装着日	体重 (g)	回収日	体重 (g)	測位間隔
1895	5B-71718	♂	2017/7/31	85.0	2018/7/20	78.1	10日ごと
1896	5B-71740	♂	2017/7/31	81.6	2018/7/18	78.8	10日ごと
2418	5B-71715	♀	2018/7/17	75.7	2019/7/16	75.7	15日ごと
2419	5B-71757	♂	2018/7/17	79.6	2019/3/22	80.0	15日ごと
2420	5B-71740	♂	2018/7/18	78.8	2019/7/18	77.8	15日ごと

結果と考察

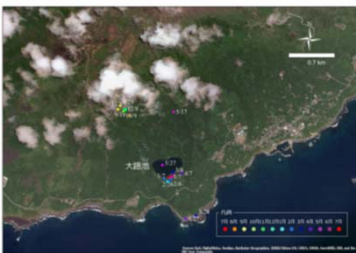


・ID1895, 1896は三宅島内でのみ位置情報が記録された。ID2419は三宅島と神津島間を行き来していた。ID2418と2420は地上では三宅島でのみ位置情報が確認されたが、一部は御蔵島に近い洋上でも記録されていた。

→静岡県では1月-3月に記録されているが、今回追跡した個体は同時期に大路池周辺に戻っていた。個体や年齢, 性別によって違う可能性がある?



ID1895



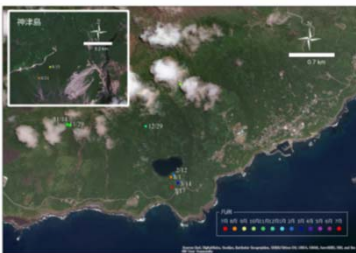
ID1896



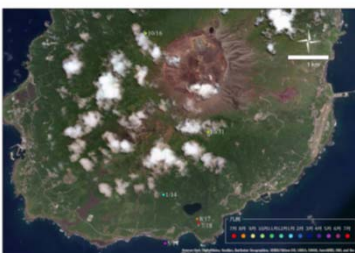
ID2418



ID2419



ID2420



- ・いずれの個体も, 8月から9月までは標高30-60m程度の大路池周辺の常緑広葉樹林 (スダジイ, タブノキ林など) をよく利用していた。
- ・10月から翌年1月頃までは標高300mから450mにかけての火山荒原植生 (ハチジョウススキ・ヒサカキ群落) を利用していた。
- ・翌年1月から2月になると大路池周辺の常緑広葉樹林に戻り, そのまま繁殖期にも利用していた。

→餌資源の分布や現存量の変化, 利用する餌資源の種類の変化などが影響?

謝辞

・本調査は, アカコッコ保護のためにいただいたご寄付である手島基金をもちいて実施しました。記して感謝申し上げます。